

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail: info@g.jyuji.or.jp
印刷/大和印刷株式会社

2018
No.217

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



百歳のご長寿おめでとうございます。

2018年09月08日 御殿場十字の園園遊会

心は楽しくしあわせあふれ、響くはわれらのよろこびの歌
交響曲第九番二短調『合唱付』抜粋日本語訳

イルド

理事長 平井 章

こうの史代の『夕風の街桜の国』は広島原爆をテーマにした漫画です。原作者の『この世界の片隅に』は戦時中の呉市の生活と実家がかった広島原爆がテーマの漫画です。今年、八月六日にNHKが、七月から九月にTBSが原作の実写ドラマを放映しました。原作に忠実に脚本されています。

八月に呉市の大和ミュージアムと被爆体験伝承者でボランティアガイドのIさんの案内で、広島平和平和記念公園と資料館を見学しました。「安らかに眠ってください／過ちは繰返しませぬ」(原爆死没者慰霊碑)「これはほくらの叫びです／これは私たちの祈りです／世界に平和を／さすくための」

(原爆の子の像・折鶴の像)
この言葉を心を込めて口ずさみました。

平成三〇年「平和の誓い」

(小学六年生)

平和とは、自然に笑顔になれること。

平和とは、人も自分も幸せであること。

平和とは、夢や希望をもてる未来があること。

特養の三つの推進テーマ

～中長期の取り組み方針～

御殿場十字の園施設長 宮島 克利

課題（問題）とは、「あるべき姿」と「実際」とのギャップである、全国社会福祉協議会発行の福祉職員向けテキストにあります。とても分かり易く前向きな課題の捉え方だと思えます。そこで今回は特養について私が思い描く「あるべき姿」と「実際」とのギャップを見つめ、今後取り組みたいこととして三つのテーマにまとめてみました。今後中長期的に計画し取り組んで行きたいと思うことです。

- 一、ユニットケアの推進
- 二、自立支援介護の推進
- 三、ノーリフトケアの推進

一、ユニットケアの推進は、一九九九年の御殿場十字の園全面改築以来のテーマです。「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」という法人理念を特養において具現

化する上で最良の方法だと思えます。ユニットケアは、尊厳あるその人らしい暮らしを支える個別支援を目標としたものだからです。

では実際はどうでしょう。二〇〇二年にユニットケアが制度化された以降に建てられた施設と比べると、約二十年経過し老朽化していることもあって残念ながら見劣りしてしまいます。居室は四人部屋が約七割を占め、共用トイレはフロアーに面しており、風呂場はだだっ広いなどプライバシーの面では多々課題があります。また、居室を出てからどこで過ごされるかを選択できる空間は自由を尊重する意味でも大切なのですが、居室と食堂以外に本人が過ごせるような所謂セミパブリックスペースなどの環境は十分とは言えないと思っています。

環境（ハード面）とケアの仕方（ソフト面）は車の

御殿場市地域包括支援センター

さくら通り開設

地域包括支援センターさくら通り

センター長 井部 里美

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが地域で安心した生活が続けられるよう、介護・福祉・健康・医療など様々な面から総合的な支援を行うため、御殿場市から委託を受けた相談窓口です。地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー！保健師（経験のある看護師）・社会福祉士の資格を持った職員がそれぞれの専門知識

を活かし、お互いに連携をとりながら皆さんの暮らしを支援しています。

御殿場市では二〇一七年三月まで四カ所の地域包括支援センターでしたが、高齢者の増加に伴い、対応の充実化を図るために、二〇一八年四月に五カ所目の地域包括支援センターとなる『さくら通り』が開設されました。職員は四人体制です。

御殿場地区の中でも、東山・二の岡・新橋・湯沢・萩原・永原の六地区を担当します。

御殿場市の人口は八八、四九四人で、担当地区の高齢者人口は四、一〇六人です。御殿場市の高齢化率二十四・〇パーセントに対して、さくら通りの担当区の高齢化率は二十一・九パーセントで現在のところは低

い状況です。さくら通りの担当する地域は市中心部から観光地でもある御殿場プレミアムアウトレット・秩父宮記念公園・ごてんば温泉会館などあり、市街地から自然豊かな場所まで、風光明媚な魅力のある地域です。事務所前には御東原循環線が通っており、春には約一キロの桜並木となります。

介護や福祉、医療などに関することはもちろん、どこに相談したらよいかかわからない心配ごとや悩みは地域包括支援センターにご相談ください。相談内容に応じて適切な機関などと連絡を取り皆さんへ必要な情報や、サービスの提供、サービス機関などをご紹介します。

秘密厳守・相談無料。

お気軽にご相談ください。



環境（ハード面）とケアの仕方（ソフト面）は車の



両輪のようなものです。環境が整っていないければ、流れ作業的な業務優先のケアになりがちです。利用者中心の一人一人に合わせたケアをしたくても限界があります。実際、職員は個別支援を意識して取り組んでいるものの、残念ながら時間間に追われながらのケアになってしまっているところがあります。

や自尊心への十分な配慮はもちろん、介護の専門性を高めトイレ排泄を目指すなど、あきらめずに自立へ向かって支援し続けることがとても大切です。また、今後はICT（情報通信技術）などを活用し効率的効果的に取り組める環境を整えていくことも必要と思っています。

三つ目のノーリフトケアは、持ち上げない・抱えあげない介護・看護という意味です。その為に介護リフトやスライドボード等の介護補助具を活用します。北欧などでは、既に人力での利用者を抱え上げての介護は明確に法律で禁じられているとのこと。そもそも介護者が腰痛になったり、大きな負担を感じたりしてまで介護をしてもらいたくないと思う人は誰もいないでしょう。「抱え上げない」介護は、これからの新常識としていかなければならないことです。その為に利用者や職員にとって安心安全につながる環境整備を行い、ノーリフトケアを推進していきたいと思っています。

二つ目の自立支援介護は、約七年前から特に意識して取り組んでいることです。例えば排泄でも単にオムツ交換をベッド上で行うケア（後始末ケア）ではなく、専門的な基礎知識や理論に基づきながらトイレでの自然排泄を目指します。言うまでもなく、排泄は生きていく上で不可欠な行為であるとともに、極めてプライベートな行為でもあります。だからこそ、プライバシー

二〇一八年度
夕涼み会について



実行委員長
勝亦 達也

七月二十六日に御殿場十字の園の中庭にて夕涼み会が実施されました。準備の際、過ごしやすいい天気にも恵まれ、実行委員会を中心に準備を進めていました。途中、雨雲が見られ、不安もありましたが無事開催することが出来ました。年に一度の大イベントを盛り上げ、入居されている皆さん、施設



を利用されている皆さん、そして御家族等に楽しんでいただく為に、今年も各青年団の皆さん、盆踊りや付き添いのボランティアの方々、多くの人々にご協力を頂く事ができました。また模擬店は、たこやき、焼きそば、アイスなど様々なメニュー出店しました。私の子供達も参加させていただけ、「たこ焼き、アイスがとてもおいしかった」と喜んでいました。また、ボランティアの皆さんと一緒に盆踊りを楽しんでおり一緒



に参加出来た喜びを感じています。そして夕涼み会メインイベントの花火はいかがだったでしょうか？夜空に咲き乱れながら輝く花火に「わり凄いい、きれいだね」とたくさんの歓声が聞かれ「夏」を感じていただけたのではないかと思います。夕涼み会終了後も花火の余韻を残し、笑顔溢れる表情をみせながら、居室に戻られる皆さんの横顔がとても印象的でした。実行委員会を中心に職員一同、より良い夕涼み会になるように会議を重ね、準備をしてきて良かったと思います。今年の夕涼み会と同様に、来年もその先も笑顔が溢れるように……。



ありがとうございました。

特養トピックス

すみれ



★プリンアラモード

朝倉涼介

七月二十三日。皆さんのご要望に応じてプリンアラモードを作りました。集まっていたら、準備したベースのプリンにカウンターに用意してある果物・クリームをお好みに合わせてトッピングしてもらいました。それぞれの個性あふれる芸術作品に、自己満足しながらもお隣、お向かいの方とそれぞれの作品に話が盛り上がりつつもスプーンが止まりません。ちよつと遠慮がちな方には私たちが「トッピングのオマケはいかが?」と追加で好きな果物を選んでもらいました。「こんなにたくさんもらえて嬉しいわ」と喜んでくれたので、私たちも嬉しかったです。

ひまわり

★手作りピザパーティー

前田理沙



三か月に一度のユニットの寄り合いで、ある方から「ピザが食べたい」と意見がありました。宅配ピザのデリバリーも検討しましたが、今回は生地から作る手作りピザにすることに決定。イベント当日、大きな「トル袋」に入れたピザ生地を皆さんに順番にこねていただいて、トッピングをしてホットプレートで焼き上げました。皆で協力して作った生地は、外はかりかり、中はふんわり。久しぶりに食べる焼きだての本格派ピザに皆さんも大変満足して下さっていました。

ちどり・ほどとぎす

★お買い物・昼食外出 山田綾夏



七月二十一日、「天井が食べたい」と言う方がいらつしやいました。急遽皆さんとお買い物も兼ねて昼食外出で二代目魚河岸に行きました。まずはお買い物。自分の欲しい物を生懸命選んでカゴに入れていました。最初の目的は完了したので、皆さん心軽く魚河岸に向かいました。お品書きを見たら「色んな物が食べたくて迷っちゃう」と言いながらも、頼んだものが目の前にくると驚きながらも「美味しー」と口の中に頬張ってたくさん食べていました。今日は笑顔も多く見る事が出来た二日です。これからも素敵な外出を計画したいと思います。

ひばり

★毎年恒例!流しそうめんイベント!
猪越美穂



今年も流しそうめんの季節がやってきました。ユニット内に設置した竹を囲んで、皆さん箸を持ち、準備万端です。水が流れ出すと「おおー!」と声が上がります。「水の流れる音は涼しくなつて気持ちがいいねえ」と涼しさを感じている方もいらつしやいました。そうめんが流れ始めると、我先にと素早く手を伸ばされてしまいました。狙っていたそうめんを隣に座っている方に取られてしまう場面もありましたが、お腹いっぱいになり流しそうめんを堪能して頂くことができました。まだまだ暑い日が続きますが、この夏に涼しい思い出が二つ加わりました。

かなりあ

★おやつ外出

三浦桃花



七月三十日、おやつ外出で足柄サービシアリアに皆さんと出かけました。エリア内を巡回して、それぞれ好きなパンやコーヒーマイル・アイスクリームを買って、イトインスペースで美味しく召し上がっていました。帰りには皆でお弁当を買いました。鰻弁当を買った方は、それはそれは愛おしく大事そうに抱え、目を輝かせて「ずつと食べたかった。タゴ飯に鰻を食べるんだ」と嬉しそうに教えてくださいました。待ちに待った夕食では「旨いよ。旨いよ。」と言いなから完食されました。これからも皆さんの希望を叶えていきたいなと思えます。

ケアハウス

入居者の様子

勝又 加津子

現在、ケアハウスは男性七名、女性二十三名の三十名が入居されています。入居されている方々の平均年齢は八十二・三歳です。元気に庭の花や植え込みの手入れをして下さる方、畑で野菜を作られている方、趣味の裁縫を生かして人形や飾り物を作られている方、多少の雨にも負けず、元気に施設の周りを歩かれる方、毎日一時間程近所を散歩にいかれる方と日常生活において、皆さん様々な事を楽しまれていらっしゃるようです。玄関は一年を通して季節の花々、手作りの飾り物がディスプレイされて、ケアハウスの方々のみならず施設を利用される方、お仕事でいらっしゃる方もふと立ち止まって見入っている事もあり、多くの方々の目を楽しませてくれます。わたしたち職員もつい立ち止まって見入ってしまうんです。日常的に忙殺されてしまいがちな日々を過ごしている時、有り難いことに季節のうつろいというものを気付かせてもらっているのです。





昔は当たり前のようであった茅葺き屋根も今ではめずらしいものとなってしまいました。茅葺き職人も同じく減少の一途を辿り、現在では御殿場市内のみならず、県内でも私たちだけとなってしまいました。

日本の古き良き文化、伝統技術を次の世代に繋げていきたい。イベントを開催し発信する事で、茅葺き屋根や職人を知ってもらおうキッカケをつくりたい。そんな想いをお伝えしたところ、茅葺きの技術を実際に見ていただく機会をつくっていただきました。

入居されている方の中には茅葺き屋根に住んでおられた方もいらっしゃるかもしれませんが。皆さんの記憶を覚えていただき、伝えていくことも大切だと考えております。また古き時代や道具にふれてもらう事で『癒し』効果があればと期待しております。今回御殿場十字の園中庭に制作する茅葺きテラス（テント）は秘密基地を作るような感覚で、見ていただくだけでもワクワクするようなモノになれば良いなと思っております。

《ボランティア紹介》
♪ (株)富士山茅葺産業



在宅トピックス

くつろぎ ◎不可能を可能に！土屋彩菜

くろくちよをご利用の方がテレビで便利な器具が紹介されていたと話してくれました。放送していた時間帯やチャンネル、情報を基に検索をした結果、食材を固定して片手だけで切ることができる『まな板』が見つかりました。通常まな板上で切るといふ行為は、片の手が包丁を司り他方の手は食材に添えられ、そのため両手が必要となるのですが、このまな板は食材を固定するいくつもの工夫が施されており、包丁を持った手だけで食材を切る事ができるのです。少しでも自分で料理が出来るようにと買い求め寄付してくださいました。早速食のイベントの際に、食材を切る喜びを笑顔とともに体験していただきました。

「食へて美味しい」「皆で食事が楽しい」に加えて「作れて嬉しい」の隠し味が、「食の喜び」を二歩進めてくれたのではないかと思います。これからもみんなで一緒に料理をする事の楽しさを感じていただけるよう色々な工夫をしていきたいと思います。



デイサービス ◎夏の風物詩 呂 洪珠

今年も毎年恒例の夏の風物詩、流しそうめんを行いました。孫やひ孫さんが行った家庭は家庭用そうめん流し器が出来ませんが、流しそうめんといえませんが流し器も半分は切った竹の上に水と共に流れてくるそうめんを、箸でつかまえて食べる楽しみだと思えます。

デイサービスでは竹に似せてプラスチック製の竹で皆さんが少しでも本物に近い流しそうめんを楽しみたいと出来るよう努力しています。

命そうめんをすくっていました。中には「何十年振りだろうー」と凄く喜ぶ方もいました。自宅ではなかなか楽しめないイベントなどで季節感を感じていただき、生活にメリハリが出るように職員同努力していきたいと思えます。



ふじげん ◎流しそうめん 中島 渉

七月二十四日にデイサービスと合同で流しそうめんを行いました。午前中からそうめんを茹でて二口分にまとめる作業をふじげんらを利用される女性の皆さんにお願いすると慣れた手つきで上手くまとめてくれました。昼になり、いつもの食事前に三人〜四人ずつ順番に会場に向かいました。いざ、そうめんを流すと最初から箸でせき止めてすくう人や、慌ててつかみにいく人、間に合わず流れてしまふ人と様々でしたが、皆さん「楽しいね」「美味しいよ」と大変喜んで下さいました。

今年の夏は特に暑く、この日もとても暑い日であったので、流れてくるそうめんを見てだけでも涼しさを感じられました。また今後も季節を感じられる行事を企画していきたいと思えます。



ショートステイこすもす ◎バーベキューパーティー 中垣内拓実

夏の食事イベントといふことで、こすもすではバーベキューパーティーを行いました。メニューは、焼きそば、フランクフルト、つくね、そして職員お手製の野菜炒めです。皆さんには野菜を切る作業を手伝っていただきました。さすがはお姉さま方手際が良くあつという間に十五人前の野菜を切り終えてしまいました。後は焼くだけということで私達が食材を炒めて完成です。できたての焼きそば、焼きたてのフランクフルトを頬張りながら、とてもおいしいとお褒めの言葉をいただきました。

皆さんの楽しそうな顔を見ることができ、私達同も大変満足できるイベントとなりました。次回のイベントも楽しんでいただくことができるものと考えていきたいと思えます。



献金下さった方々

敬称は略させていただきます

4月分

千田恵子、高嶋幸子、芹澤栄

5月分

鈴木きよ子

6月分

富士社会教育センター、小野郁夫

7月分

堀内和男、(有)大野原建設工業、土屋美佐子、福島正昭、小宮山年男、井上あい子、村上国幸、鮎沢青年団、東山青年団、深沢青年団、(有)ロッキーマックス、西村正子

8月分

匿名 柏木茂嘉、鈴木艶子、小松保、

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

4月

藤原節乃、杉山英子、野木和子、秋葉絹子、勝又ツヤ子、中里京子、杉の子大正琴、アドナイ館、岩崎欣子、日置富貴子、鈴木征子、只野あつ子、福島正昭、福島桂子、なでしこ会、市婦連福祉グループ、藤原グループ、ビューティーサロンヤマダ、印野はざまの会、厚生年金婦人会、関根保子、エンジェル(レクダンス)、春風一路、御殿場市図書館ボランティアの会、赤十字奉仕団、野木須美子、隆生会、ふれあい動物、鈴の会、御殿場教会

5月

中里京子、勝又ツヤ子、厚生年金婦人会、アドナイ館、藤原節乃、野木和子、ビューティーサロンヤマダ、不二聖心中学生、ゆうゆうクラ

ブ、田山和子、斉藤淑子、なでしこ会、赤十字奉仕団、琴音会、野木須美子、隆生会、金子克己、関根保子、鈴の会、市婦連福祉グループ、東山婦人会、春風一路、しょうえい幼稚園、アドナイ館

6月

アドナイ館、厚生年金婦人会、藤原節乃、中里京子、勝又ツヤ子、金子克己、野木和子、印野はざまの会、ビューティーサロンヤマダ、隆生会、市婦連福祉グループ、春風一路、エンジェル(レクダンス)、深沢女性の会、赤十字奉仕団、鈴の会、なでしこ会、(株)コスメロール(ハンドマッサージ)、川波俊昭(さつき展)、不二聖心中学生・高校生、御殿場教会、野木須美子、関根保子、富士社会教育センター(1HI株)、藤川けんグループ

7月

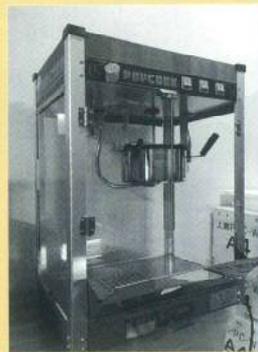
厚生年金婦人会、藤原節乃、勝又ツヤ子、中里京子、金子克己、なでしこ会、野木和子、市婦連福祉グループ、藤原グループ、関根保子、アドナイ館、田山和子、斉藤淑子、文化グループ語り

8月

の会、杉山英子、琴音会、赤十字奉仕団、東山婦人会、野木須美子、御殿場教会、春風一路、鈴の会、交通安全全教室(御殿場警察交通安全

ポップコーンマシンを購入しました

毎年秋に開催される施設内のイベント。数年前からポップコーンマシンを近隣の自治会からお借りしていましたが、催事、特にお祭りは開催時期が重なり借用・返却等で苦労します。そんな時未使用アウトレット品が売られ入手しました。この種の製品はほとんどが発祥の地アメリカ製ですが日本仕様に改造されています。初期不良等の確認のため「一週間以内に稼働確認の事」と書かれてありますので、添付されていたようにろこしを使ってテストです。香り立つという表現が適切でしょうか。廊下を伝ってかぐわしい香りが漂います。もちろんポップコーンはしっかりと出来上がりました。



あとがき

私達の厨房に大型三升炊き三連立体炊飯器があります。最も重要な設備の一つですが、導入の際メーカーの人間が二週間張り付いて調整を行います。そういえば先日電メーカ一本社勤務の知人が困ったと言ってきました。人事異動で炊飯器開発部門に移動になり、お腹周りの数値が増えることが確実とのこと。お米の『味』『食感』『香り』『炊き具合』は数値に加え、最後は最高のセンサー人間に委ねられます。お米は日本人の主食だなぁと感じます。そろそろ出回る新米の香りに添えてこの機関誌をお手元に。(やまもと)

御殿場十字の園へのご寄付

4月分	3件	85,000円
5月分	1件	3,000円
6月分	2件	20,000円
7月分	12件	117,000円
8月分	4件	537,000円

H30年4月～8月
累計 22件 762,000円

ご献金、ご献品心より
感謝申し上げます。

郵便振替口座

口座番号 00870-9-190162

口座名称

社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙を
お送りいたします。

